

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園児童デイサービス事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	07	02	60
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	概ね2歳から就学前の児童で、成長・発達の心配のある児童と保護者	意図	成長・発達に遅れが心配な児童に対して、運動、ことば、社会性・対人性など、全体発達を促す。
事業内容	児童デイつばさは、1日の利用人数は20名です。発達の遅れが心配な児童に対して、日常生活における基本的動作の習得及び集団生活に適應できるように、週2～3日通園し、児童の身体及び精神状況や生活環境に応じて適切かつ、効果的な支援・訓練を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年10月1日に開所する。利用児童数は増加傾向にある。24年度からは、3歳未満の利用児童は1年間の母子通園を行う。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		延べ利用日数	835	2,143	1,933	人	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童デイを利用する登録者数は、増加傾向にあるが、幼稚園や保育所と並行通園をしている児童があり、幼稚園、保育園の行事等を優先するため、月平均の利用人数は、70%程度になっている。その為、児童デイにおける支援が十分にできず、「支援の効果」を利用児童が、家庭や幼稚園、保育所などで現わすことができないようである。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		22,916,443	25,997,832	25,541,674			
事業費(b)(円)		4,400,443	8,277,832	8,203,674			
うち一般財源		1,221,781					
職員給与費(c)(円)		18,516,000	17,720,000	17,338,000			
人役・職員(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	日数支援の観点から、母子通園児、並行通園児への支援の在り方の検証が必要である。	取り組みの課題	児童デイ利用児の増加に伴い、行事の作り方の工夫が必要である。
今年度(H25)に実施した取り組み	つばさ学園との大きな行事（運動会、夕涼み会）の参加や児童デイ独自の通園形態に対する行事参加の工夫を行った。	今後の改善計画	日数支援である児童デイの利用方法改善や幼稚園等を利用している園児の幼稚園との支援体制の連携を密にしていく必要がある。さらに療育の大切さを保護者の方に理解してもらうように努める